

会議結果

会議名	第3回西尾市上下水道事業審議会
日時	令和5年6月28日(水) 午後2時から午後3時15分まで
場所	西尾市役所水道庁舎 3階 第2会議室
出席委員	会長 齊藤 由里恵、副会長 久世 俊彦、小島 富雄、 木下 典子、立岩 義典、新家 和彦、鈴木 真、糟谷 大輔、 中嶋 文子、勝 良一
欠席委員	—
事務局	上下水道部 部長 黒柳 慎一 上下水道経営課 課長 鈴木 正良、課長補佐 中根 綾美 上下水道営業課 課長 伊藤 清克、課長補佐 山下 晶宏 課長補佐 尾崎 かおり 水道整備課 課長 牧原 保志、課長補佐 金子 賢治 課長補佐 鳥居 正行 下水道整備課 課長 近藤 茂弘、課長補佐 深谷 英明 株式会社日水コン(2名)
傍聴者	1人
議題	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 水道事業経営の財源のあり方について (2) その他 4 連絡事項

<p>会議結果</p>	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局から審議事項について説明 水道事業経営の財源のあり方について</li> <li>・ 質疑応答及び意見 (会長) 現状の経営状況について、まず、収益的収支の純利益は資本的収支の不足分を補填する財源として使う必要があります。つまり、収益的収支は黒字でも余分な利益が出ているという訳ではないという事、また内部留保資金は一定程度必要だという説明をいただきました。内部留保資金は目標の30億円程度あれば経営状況が安定するため、それを基準に今後のシミュレーションを行いました。財政赤字が発生する令和8年が迫ってきており、既に収益的収支でも財源不足が出てきております。これを回避するために料金改定が必要だと考えられ、料金値上げのケースを2パターン示していただきました。二つの違いは、料金改定の最初の値上げ段階である令和7年度の値上げ割合を15%にするか20%にするのか。これを変えてシミュレーションをすると、15%の場合は8年間黒字経営になり、20%の場合は11年間黒字経営を維持することができます。今回の審議ではケース 1(15%)ケース2(20%)どちらのパターンがいいのか皆様のご意見を頂戴しようと思っております。今の事務局からの説明に対しまして、ご質問等がございましたらお伺いしたいと思います。</li> <li>(委員) 8ページに、ケース2(20%)の場合「値上げ幅の大きい水量ランクの需要者は20%を超過する急激な値上げとなる」という記載がある。両ケースとも最終的な累計は同じだが、需要者によって違いが出るのならそれについて説明が欲しいというのが1点。2点目は3ページの収益的支出について。主な支出に受水費とあり、これは愛知県から購入している水だと考えられるが料金は県内で全て同じなのか、また他市町村と比較すると西尾市としての傾向などはあるのでしょうか。</li> <li>(事務局) 8ページについて、まず契約している口径によって基本料金は違ってきます。今回は一律ではなく平均で20%上げるので、実際は上げ幅が大きい階層と小さい階層が存在することになります。階層ごとの差については次回の審議会で審議する予定です。次に受水費について、単価は愛知県内で統一されています。</li> </ul>
-------------	---

ます。ただし、自前で賄える水量は市町村によって差があるので購入する水量には差があります。自己水源の多い市町村は購入量が少ないので受水費は下がります。

(会長)

料金の値上げについて、まず初回の値上げ割合を15%にするかそれとも20%にするのかという西尾市全体のことを審議し、その後各需要者にどのように負担いただくかという2段階で審議するというところをご理解いただければと思います。

(委員)

2回目以降の料金改定の頻度が10年毎というのは一般企業に比べると間隔が長く思えるが、水道事業特有のものなのですか。一気に15%上げると、差額が大きく感じ他市との料金差が出てくると思います。また9ページには5年毎に値上げを行う可能性について記載があるが、これくらいの期間で行うのが水道事業では普通のことなのでしょうか。

(事務局)

水道料金の値上げモデルは特に決まったものはないが、水道ビジョンは10年のスパンでビジョンを作成しています。5年というのは中間見直しという意味で設定しました。しかし委員のおっしゃる通り市民への影響を考慮すると段階を踏む仕様を設定することも必要だと思います。今回はシミュレーションなのでこのような形でお出ししましたが、ルールが決まっているわけではないと思います。

(会長)

ルールで決まっているわけではないが、国は3～5年の周期で見直すのを推奨しています。水道料金の変更は議会を通すことが必要であり、条例によって定められているので、電気料金のようにコンスタントに上げることは難しい。しかし風潮が変わり、変更の流れなどを構築すれば不可能ではないと思います。しかし現状他の事業体でも3～5年のスパンで上げている事例はあり、3～5年というのが主流だと思います。もっと細かく上げていくとかいった方法ももちろん考えられると思います。そういうところも含めて皆様からご意見をいただければと思います。ケース 1 ケース 2、どちらが望ましいというふうにお考えになるのか。もしくはそれじゃない方法はないのかとか、そういうことがあればその辺も含めて皆様からご意見を頂戴したいと思います。

(副会長)

人口減少予測から値上げが必要というのは理解していますが、業務効率化をして支出を減らすことはできないのでしょうか。業務

効率化の専門家に意見を聞く為に予算を使うのは賛成なので、支出を減らすように努めてほしい。また、2回目以降の料金改定を10年ではなくインフレなどのことも考慮して5年毎にした方が理解を得られやすいのではないかと思います。

(委員)

5年くらいの単位で見直した方が市民も納得すると思うので、短いスパンでのシミュレーションがいいと思います。

(委員)

利用量減と配水管の更新は確定しているので、値上げは必須だと理解できるが支出の見直しもしてもらいたいです。民間への業務委託や入札による工事費の削減などで経費を減らしてほしいです。あと下水道の方も含めたシミュレーションが必要だと思います。見直し期間については3年くらいがいいと思います。

(委員)

値上げのアップが少ないケース1が望ましいと思います。支出削減の話が上がっていたが、自分自身は現状の水道サービスに満足しており、それは関係者の努力の上で成り立っていると思っています。値上げのスパンは、見直しだけなら毎年行ってもいいと思います。

(委員)

私はケース1でいいと思います。コロナ禍で食料品など何度も値上げを繰り返しており消費者の立場として思うところがある。3～5年のスパンもいいと思うが値上げの繰り返し感が出てくると思います。見直しは毎年行い、値上げ自体はある程度期間を持った方がいいと思います。値上げの必要性は理解しているが、行政は民間企業に比べ安定性が重要なので、安易に値上げをせず市民の負担のことも気にかけてほしい。

(委員)

値上げの必要性は理解していますが、利用者としては負担に感じます。詳しい計算の仕方は分からないので、値上げすると高いという意見が出てくると思います。期間は3年くらいのスパンで考えた方がいいと思います。

(委員)

ケース1がいいと思います。前回の値上げが2007年なのでだいぶ期間が空いているため、1回目に大幅な値上げを行うのは厳しいと思います。2か月で一万円の水道代だとすると、1500円くらいプラスされると考えられ、昨今の光熱費の上げ幅に比べると理解が得られやすい数値だと思います。値上げ間隔は3

～5年がいいと思います。

(委員)

現代から負担を均して未来にだけ負担をかけないような形の方がいいと思います。この先水道料金がどのようになるのかその時にならないとわからないと思います。値上げは仕方のないことだと思っているので、適切な期間で見直して水道料金が赤字にならないようにお願いします。内部保留資金の30億円について、根拠知りたいです。9ページに料金改定について、「検討は今後も行っていきます。」とあるが、具体的にしておいた方がよい。

(委員)

値上げについて、インフレ傾向なので消費者の理解も得られるかと思うが、急に大きな金額が上がると否定的な意見が出てくると思います。また、15%20%という表記より1世帯で100円上がるというような表記の方が議会や消費者にも理解が得やすいのではないかと思います。

(会長)

今回は将来の経営への考え方を元に初回値上げである令和7年度の値上げ割合について考えていただければと思います。1点、内部留保資金について30億円という金額の適切性について教えていただけますか。

(事務局)

30億円という金額は1年間の料金収入程度の金額。大きな災害等で料金収入が途絶えた際に1年程度収入がなくても経営できるということを想定して設定しました。

(会長)

近年災害が多発しており、その際にどれくらい必要なのか考える必要があり、1年間分のストックということも含めてより西尾市に適した形に置いていくことを検討する必要があると思われます。支出削減に関しては、これまで人員整理など、取り組んできたところもあろうかと思います。今後は、DX やスマートメーター、事務の共同化広域化などで支出削減に取り組むことは必要かと思えます。最後にケース1、2どちらにするのか、皆様のご意見ではケース1の15%が多かったので、ケース1の15%ということで次回以降のシミュレーションや資料作成等お願いいたします。また、コンスタントに値上げを行った方がいいのではとか、安定性を重視すべきという意見もございました。これらについては、諮問を受けているので、答申をお返しするときに私達のそういう思いが加えられたらいいのかなと思いますので、ま

たその時期にもご意見等いただければなと思います。

- ・ 事務局から審議事項について説明  
その他について  
(会議終了)